

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道359号 砺波東バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：富山県砺波市高道 至：富山県砺波市梅壇野芹谷	延長	6.1 km		
事業概要 一般国道359号砺波東バイパスは、災害に強い幹線道路ネットワークの形成、急カーブ区間及び冬期路肩堆雪による交通障害の解消、老朽橋梁（太田橋）の代替路確保などを目的とした、延長6.1kmの直轄権限代行によるバイパス事業である。					
H9年度事業化	H4年度都市計画決定 (H一年度変更)	H9年度用地着手	H10年度工事着手		
全体事業費	約231億円	事業進捗率	62%	供用済延長	4.5 km
地域の防災面の課題 <ul style="list-style-type: none"> 老朽橋（太田橋）では、出水時等の通行規制により大幅な迂回が生じる（平成9年7月の梅雨豪雨により、河床の砂利が流され、倒壊の恐れがあることから通行止めが発生） 狭隘、歩道未設置区間では、車両のすれ違い困難や歩行者の車道歩行などの冬期交通障害が発生 急カーブが連続する区間で死傷事故率が高い（死傷事故率100件/億台キロ以上の箇所が6箇所） 上記のように事業区間現道沿線で日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、砺波市からも整備促進の要望が出されているなど地域の喫緊の課題となっている。 現道に歩道がないため、大雪の際に歩行者が車道を歩くことから非常に危険性が高く、冬期交通障害に対し早急に対応が必要。【国道359号砺波東バイパス防災効果検討委員会（H25/9,10）】 架橋から76年経過している太田橋については、これまで同様、適切に点検し補修（クラック注入等）を行うとともに、老朽橋梁の交通負荷軽減の対策が必要。【国道359号砺波東バイパス防災効果検討委員会（H25/9,10）】 					
課題を踏まえた対策・事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 隘路・急カーブ区間については、別線ルートでの整備により、良好な平面線形(R=200m)が確保され、現道の冬期交通障害も改善することから、防災面から見て技術的に妥当。 また、計画案は別線にて庄川の橋梁渡河部を新橋で架橋することで出水時の安全性を確保し、さらに老朽橋梁の太田橋への交通負荷が軽減することから、防災面から見て技術的に妥当である。【国道359号砺波東バイパス防災効果検討委員会（H25/9,10）】 橋梁等の別線を整備することにより課題箇所を回避。 					
事業の効果等 ① 災害時の迂回解消を含めた走行時間短縮等 (394億円(残事業=90億円)) ② 災害による被害の回避等 <ul style="list-style-type: none"> 冬期交通障害の解消 老朽橋梁の代替路確保と緊急通行確保路線ネットワークの強化 			費用 (残事業) / (事業全体) 67 / 250億円 (事業費: 66 / 246億円 維持管理費: 0.83 / 3.7億円)		
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 砺波市から整備促進の要望を受けている。 知事の意見： 事業継続に同意する。 なお、今後ともコスト縮減に努め、早期に効果が発揮されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。					
事業評価監視委員会の意見 対応方針については、北陸地方整備局原案を妥当と判断する。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 <ul style="list-style-type: none"> 平成16年11月に旧砺波市と庄川町が砺波市として合併。 平成20年7月に東海北陸自動車道が飛騨清見IC～白川郷ICの開通により全線開通。 平成26年度には北陸自動車道 高岡砺波スマートICが開通予定。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					

平成10年度に工事着手して、事業進捗率62%、そのうち用地進捗率79%となっている。

残事業の内容：砺波市榎野芹谷～砺波市頼成間（L=1.6km）完成2車線整備

砺波市頼成～砺波市高道間（L=4.5km）完成4車線化整備

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 残事業区間である砺波市榎野芹谷～同市頼成間（L=1.6km）について、早期の完成2車線開通を目指して事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 路肩構造の見直し及び橋梁の支承構造部に免震構造等新技術の活用により、コスト縮減に努めている。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会における審議、地方公共団体等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性に変化なく、防災面の効果が見込まれるため。

事業概要図



※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。